

「3密」喫煙所 閉鎖の動き

新型コロナウイルスの感染が広がる中、喫煙所を閉鎖する動きが出始めた。狭い空間に人が密集し、たばこの煙を吐くことで飛沫も飛びやすいため、感染リスクが指摘されている。喫煙者は重症化しやすいとの報告もあり、専門家も注意を促している。

今日14日、東京都品川区が、JR大井町駅前に設けた喫煙所。10人入ればいっぱい空間に、8人ほどが紫煙をくゆらせていた。その一人、近くに住む無職女性(38)は「人が密集し、狭い空間に知らない人の呼吸が充滿している。感染しないかと心配はあります」と表情を曇らせた。政府の専門家会議は、感染リスクが高まる密閉、密集、密接の「3密」を避けるよう求めている。たばこの害に詳しい田淵貴大・大阪国際がんセンターがん対策センター

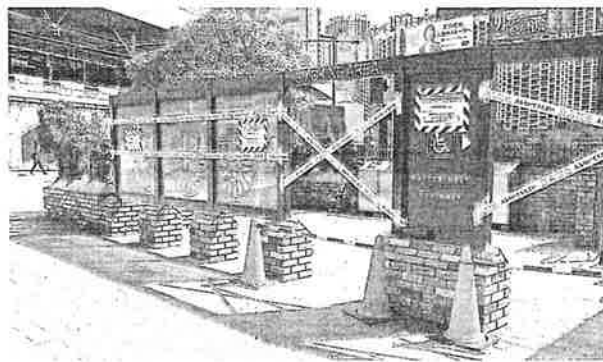
狭い空間でマスクできず



疫学統計部副部長は「喫煙所や喫煙室は典型的な『3密』だ」と説明する。ニコチン

は免疫機能を低下させるため、喫煙者は感染症にかかりやすいという。「喫煙時

●喫煙者で密集したJR大井町駅前の喫煙所。17日から閉鎖されている(14日、東京都品川区) ●閉鎖されたJR新橋駅前の喫煙所(14日、東京都港区)



はマスクも外す。リスクは極めて高い」と主張する。実際、喫煙所での感染が疑

撤去による懸念もある。今月17日から、区内9か所の喫煙所を閉鎖する品川区地域活動課の担当者は「路上喫煙やポイ捨てが増える恐れもあり、悩ましい。近隣の区の動きも踏まえて、決めた」と話している。

われるケースも出ている。今月、感染が確認された福井市内の50歳代男性の場合だ。すでに感染が確認されていた同僚男性と社内の喫煙所で、20分ほど打ち合わせをしており、そこでうつった可能性が高いという。

東京都内では、喫煙所を閉鎖する動きも出ている。港区は5月6日まで、JR新橋駅前のSL広場など28か所の喫煙所を閉鎖している。環境課の担当者は「不便をかけるが、感染の拡大を防ぐため、協力してほしい」と呼び掛ける。

喫煙者や喫煙経験者が新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいとの研究が相次いで報告されている。日本禁煙学会などは4月、「新型コロナウイルスに対する最善で重要な策は、喫煙者が禁煙すること」と、たばこの販売停止」との声明を出した。中国の研究チームは、国内の患者1099人を分析。現在喫煙しているか、過去に喫煙経験のある計158人のうち、38人(24%)が重症化

「重症化リスク高い」

研究報告相次ぐ

したと2月、米医学誌「ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディスン」に論文を発表した。喫煙していない人で重症化したのは14%にとどまった。喫煙者・喫煙経験者は、非喫煙者より重症化のリスクが1.7倍となった。欧州連合(EU)の疾病予防管理センターは、新型コロナウイルスが細胞に侵入する際に必要なたんぱく質「ACE2」の働きが、喫煙者の肺では活性化していると警鐘を鳴らしている。